

2019年3月13日

「TSUBASAアライアンス」への参加について

武蔵野銀行（頭取 加藤 喜久雄）は、「TSUBASAアライアンス」に新たに参加いたしますので、お知らせします。

「TSUBASAアライアンス」は、2015年10月に千葉銀行（頭取 佐久間 英利）、第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）の3行により発足した広域連携の枠組みです。2016年3月には、伊予銀行（頭取 大塚 岩男）、東邦銀行（頭取 北村 清士）、北洋銀行（頭取 安田 光春）、2018年4月には北越銀行（頭取 佐藤 勝弥）が加わっており、今回の当行の参加で8行の連携となります。

地域金融機関は、フィンテックやデジタル化の加速度的な進展や、規制緩和等による他業態との競合激化という変化の大きい経営環境にあります。そうした新たな経営課題に対して、スピーディかつ先見性を持って対応していくことが不可欠となります。

今回の「TSUBASAアライアンス」への参加は、各地域の金融・経済を支える地域銀行とともに、新たな課題に協働して対応していくためのものです。

「TSUBASAアライアンス」への参加により、広域連携のメリットを最大限活かすとともに、「千葉・武蔵野アライアンス」も含めた戦略的アライアンスを一層加速させ、自主独立経営を堅持しながら、お客さまへの付加価値の高い金融サービスの提供を通じて地域社会の持続的な成長に貢献してまいります。

<TSUBASAアライアンス概要>

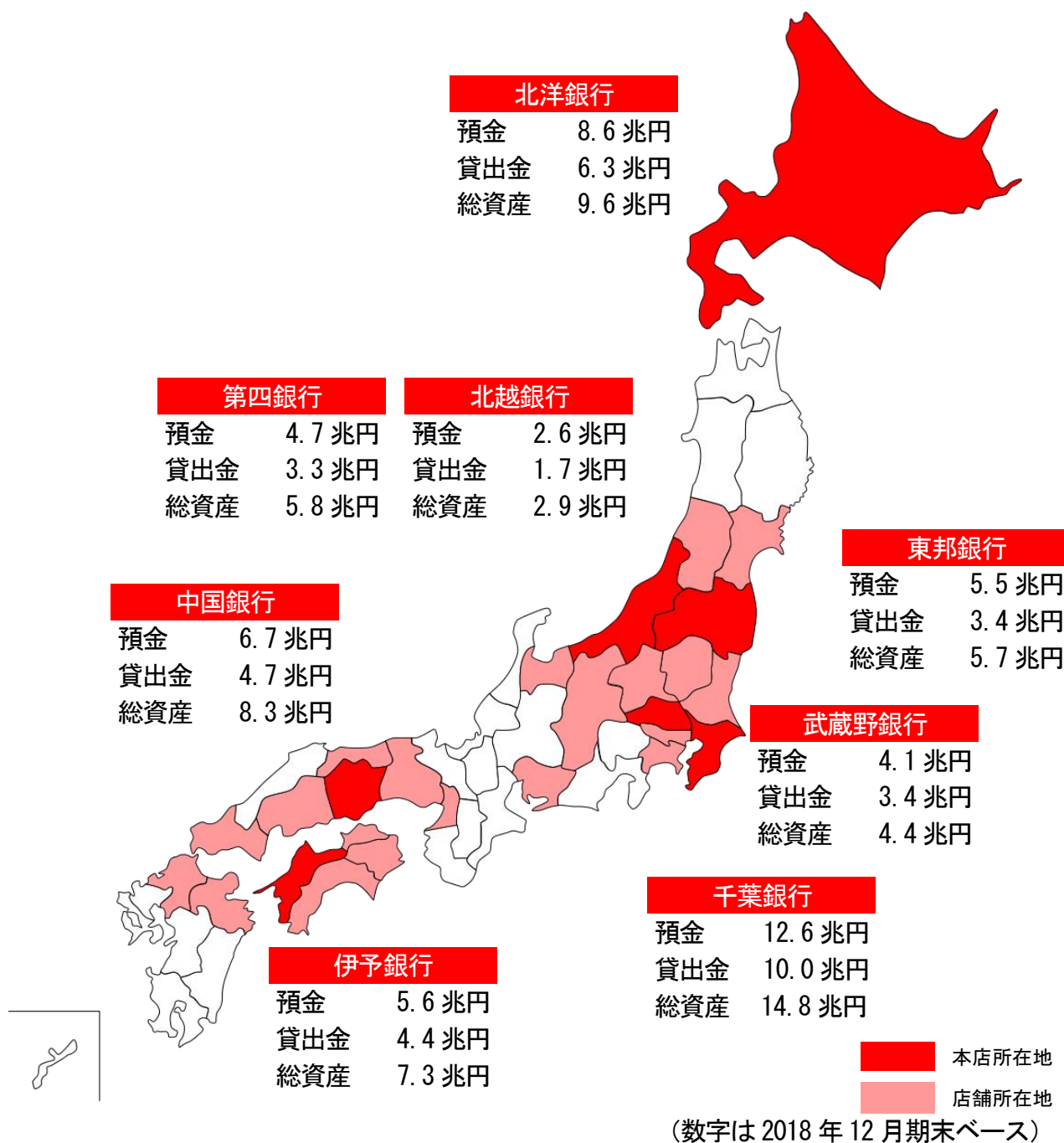


連携目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の持続的な成長や金融システムの高度化、参加行グループの企業価値の増大に資する連携施策の立案・推進 ・ 参加行のトップライン増強、コスト削減に寄与する施策の立案・推進
主な施策	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 新事業領域の開拓に向けた研究 ➢ 先進的なIT技術の調査・研究 ➢ 国際業務連携 ➢ 金融サービス高度化 他

以上

報道機関からのお問い合わせ先
総合企画部 経営政策室 森田・關本
Tel 048 (641) 6111 (代表) 内線 2160、2164

<TSUBASAアライアンス参加行概要>



沿 革	2015年10月	千葉銀行、第四銀行、中国銀行の3行で発足
	2016年3月	伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行が参加
	2016年7月	共同出資によりT&Iイノベーションセンターを設立
	2018年4月	北越銀行が参加
		「TSUBASA FinTech共通基盤」の提供開始